

魅力的な投資機会を提供する、米国マイクロキャップ株式

米国マイクロキャップ株式ファンド 追加型投信 / 海外 / 株式

- ▶ 平素は「米国マイクロキャップ株式ファンド(以下、当ファンド)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- ▶ 本レポートでは、当ファンドの足元の運用状況についてご紹介します。

足元の米国マイクロキャップ株式市況

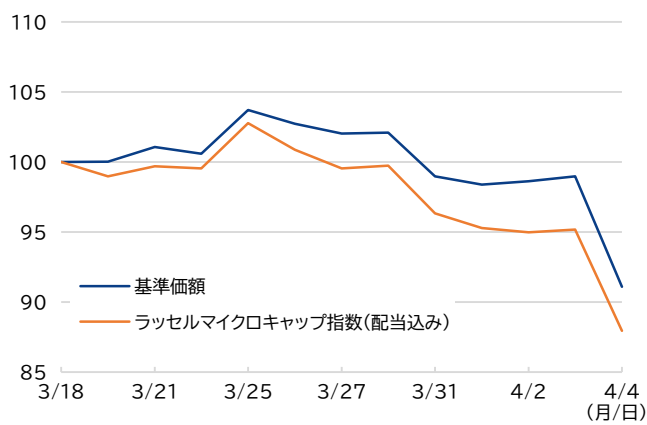
2～3月の米国マイクロキャップ株式市場は、トランプ米大統領による追加関税や、その他の保護主義的な政策に対する不透明感などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、広範囲な売りが見られました。

ただ、足元の相場下落を受けて、クオリティの高い企業への投資を行うことに関しては、株価バリュエーション面での魅力が高まっており、絶好の投資機会であると考えています。

トランプ政権の政策を巡る現在の不透明感は株式市場に変動をもたらしていますが、政策の影響の分析が進むにつれて、いずれ解消するものと考えられます。また、マイクロキャップ株式において主な投資対象としている企業は米国の内需系企業が多く、トランプ政権の米国第一主義的な政策による恩恵も期待できることが追い風になるとみています。

図表1 当ファンドの基準価額と株価指数の推移

期間:2025年3月18日～2025年4月4日



※2025年3月18日(当ファンドの設定日)を100として指数化
 ※基準価額は信託報酬控除後
 ※ラッセルマイクロキャップ指数は円換算後
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ポートフォリオの構築状況

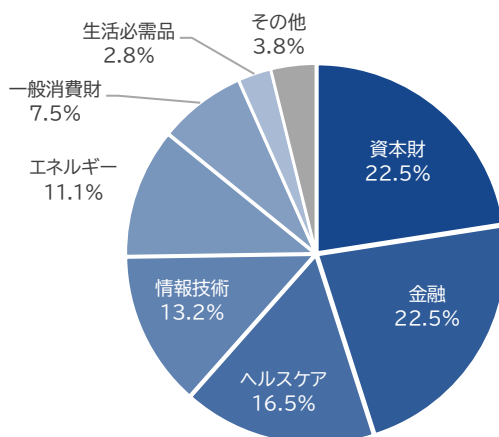
業種別構成比率は、資本財と金融の比率が高くなっています。資本財は、ニッチ市場で強い競争優位性を持つ企業が多く、その中でも成長が見込める企業に投資しています。金融は、フィンテック企業や地域金融機関など、新しいサービスを提供する企業を中心に投資しています。特に、革新的な技術を活用し、従来の金融機関が提供できなかったサービスを迅速に展開し、安定的に市場シェアを拡大している企業に注目しています。

米国の内需系セクターを中心とし、成長ポテンシャルがあるニッチな産業のリーダー企業を中心にポートフォリオを構築しています。

これにより、安定した成長と持続可能なリターンを追求し、投資家にとって魅力的な選択肢を提供しています。

図表2 業種別構成比率

2025年3月21日時点



※四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。
 ※米国マイクロキャップ株式マザーファンド(以下、マザーファンド)の純資産総額に対する比率です。

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ビーティイー・リミテッドのデータに基づき
 SBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ポートフォリオ・マネージャーからのメッセージ



デビッド・B・デュバード
ポートフォリオ・マネージャー
シニア マネージング ディレクター

当戦略は40年以上の運用実績を誇り、マイクロキャップ株式の中でもハイクオリティ企業に投資します。

ハイクオリティ企業の特徴には、ニッチな産業における競争優位性の高さ、強固なバランスシート、実績ある経営陣、魅力的なバリュエーションがあります。

マイクロキャップ企業はすべての特徴を備えていないこともありますが、私たちは厳選してハイクオリティ企業を見極めていきます。

米国の小型株が大きな打撃を受けた理由

・高い国内経済への依存度

米国の小型株企業は、大型株企業に比べて国内市場への依存度が高くなっています。このため、米国の小型株は、関税の直接的な影響に対しては比較的に有利な立場にありますが、その後の米国経済成長への広範な打撃、金融条件の引き締め、消費者心理の弱体化に対してはより脆弱だと思われます。

新しい関税は、これらの影響が国内経済に波及し、小型株企業に不均衡に影響を与える懸念を引き起こします。関税が広範な国々からの輸入品を対象としているため、投資家は米国経済の見通しが悪化し、成長の鈍化や景気後退に陥る可能性を恐れています。

・ネガティブな市場センチメントとリスク回避

市場心理が小型株の下落を増幅させました。関税の発表は、投資家を広範なリスクオフのムードに陥れ、恐怖と不確実性を高めました。不確実性が高まると、市場はより高いボラティリティと低い流動性を持つ小型株を最初に売却する傾向があります。

小型株は一般的にアナリストのカバー率が低く、機関投資家からの投資が少ないことなどから、ネガティブなニュースで大きな変動が生じやすいと言えます。

米国の小型株が依然として魅力的な理由

・魅力的なバリュエーション

最近の下落により、小型株のバリュエーションは大型株に比べて非常に魅力的な水準にあります。多くの指標で、小型株は現在、大型株よりも大幅に割安です。過去数年で最も魅力的な水準にあります。実際、小型株は株価収益率(P/E)や株価純資産倍率(P/B)などのバリュエーション指標で数年ぶりの低水準で取引されており、逆張りの投資家は、この水準を投資機会と見なし、現在の株価水準で小型株を購入することで、センチメントが正常化した場合に強力なリターンを得ることができると考えています。さらに、低いバリュエーションはここからの下値余地が限られており、多くの悪いニュース(関税の影響など)がすでに織り込まれている可能性があります。実際の結果が予想よりも悪くなければ、小型株のバリュエーションはこれらの低迷した水準から大きく改善する可能性があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

・堅調な収益成長の見通し

基本的に、米国の小型株企業は引き続き健全な収益成長の可能性を持っており、貿易の逆風にもかかわらず、収益見通しは依然として強いです。ウォール街のアナリストは、小型株の収益が急回復すると予想しており、2025年の小型株の収益成長に対するコンセンサス予測は高いです。小型株の収益は、大型株の収益のほぼ4倍のペースで加速すると予想されています。関税による収益率低下圧力を考慮しても、多くの小型株企業は需要の増加や効率の改善を通じて収益を成長させることができます。経済がハードランディングを避ければ、小型株企業に来年にかけて株価を押し上げる強力な収益増加をもたらす可能性があります。

このように、短期的な逆風にもかかわらず、米国の小型株企業は依然として魅力的な投資機会を提供しています。

・なぜ今、当戦略なのか？

当戦略は、米国内企業で価格決定力があり、需要減退リスクや信用リスクが低い銘柄を厳選して投資しています。これらの企業は、景気が減速しても好調を保つことができるため、外部ショックに対しても強い耐性を持っています。

魅力的なバリュエーション、堅調な収益成長見通しなどから、マイクロキャップ企業は短期的な逆風にもかかわらず、魅力的な投資機会を提供できると信じております。

組入上位10銘柄および投資ポイント（作成基準日 2025年3月21日）

| 銘柄 | 組入比率 | セクター | 事業概要 | 投資のポイント |
|-----------------------|------|-------|--|--|
| 1 バレット・ビジネス・サービス | 2.0% | 資本財 | 人材アウトソーシングおよび習熟作業員派遣組織(PEO)サービスを専門とした、ビジネスマネジメントソリューションを提供 | 欧米などの主要市場外においても事業を拡大しており売上増加に期待 |
| 2 REVグループ | 2.0% | 資本財 | 2社寡占の救急車メーカーの最大市場シェアを有しており、3社寡占の消防車メーカー市場シェアでも第2位 | 各セグメントにおいて2.0-2.5年分先の受注残高があり、コロナ禍のサプライチェーン混乱や原材料コスト高などが収束しつつあるなか、利益率が回復傾向 |
| 3 ブルー・バード | 2.0% | 資本財 | スクールバスメーカー大手 | スクールバス需要の循環的および構造的(ディーゼルからEVへの移行)な追い風から恩恵を受けると期待 |
| 4 MDAスペース | 2.0% | 資本財 | 宇宙産業に、ロボティクス、衛星システム、地理空間情報などの技術、ソリューション、およびサービスを提供 | 底堅い受注や有望な製品/パイプライン、および競合優位性に加え、民間・各国政府の宇宙への関心の高まりにより、今後3-5年間強い成長を期待 |
| 5 セレクト・ウォーター・ソリューションズ | 1.8% | エネルギー | 石油およびガス生産者に、汚水リサイクル、汚水処理、および淡水調達を提供する、水のインフラ企業 | 高いフリーキャッシュフロー創出力を基に、多くの水リサイクルプロジェクトに資金提供することにより、強力なネットワーク効果を実現するビジネスモデルを評価 |
| 6 FAMC | 1.8% | 金融 | 米国の農場や牧場、インフラ、再生可能エネルギープロジェクトに金融ソリューションを提供する政府支援企業 | 低い資本コストおよび収益資産への容易なアクセスによる同社の競合優位性を評価 |
| 7 エノバ・インターナショナル | 1.8% | 金融 | 中小企業および消費者向けの短期金融ソリューションを提供するデジタルプロバイダー | 事業環境の改善に加え、迅速な金融ソリューションを求める中小企業や消費者ニーズの高まりが追い風 |
| 8 アンコール・キャピタル・グループ | 1.7% | 金融 | 債務不履行の消費者債権ポートフォリオの買い取り、および管理をする専門金融企業 | 債務不履行債権の供給が増加し、価格も安定している。同事業は規制が厳しいため、米国ではほぼ2社寡占となっている点を評価 |
| 9 アーティピオン | 1.7% | ヘルスケア | 心臓および血管手術、特に大動脈疾患に焦点を当て、大動脈ステンドグラフトや機械式心臓弁などを製造販売 | 市場規模が大きく競争力が高い、同社の革新的な心臓デバイスに対する承認プロセスを進めている点を評価 |
| 10 オーソパディアトリックス | 1.6% | ヘルスケア | 小児整形外科に専念し、整形外科インプラントおよび器具を設計、開発、商業化 | 全国の小児病院と提携して、小児に特化したインプラント市場に注力している点を評価 |

組入銘柄数:188銘柄

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※上記は、組入銘柄の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨および個別銘柄の組入れを示唆または保証するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国マイクロキャップ株式ファンドに関する留意事項

投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因は、「カントリーリスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料: $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\% \text{(税抜} 3.0\%)$
 - 換金手数料: **ありません。**
 - 信託財産留保額: $\text{換金申込受付日の翌営業日の基準価額} \times 0.3\%$
 - 運用管理費用(信託報酬): $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.958\% \text{(税抜} 1.78\%)$
 <外部委託先報酬>
 マザーファンドの運用指図に関する権限を委託するウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが受取る報酬は、委託会社が受取る信託報酬から支払われるものとし、計算期間を通じて毎日、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に年率0.80%を乗じて得た額とします。
 - その他費用・手数料: 監査費用[$\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0132\% \text{(税抜} 0.012\%)$]、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。
 なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。



商号等: SBI岡三アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

販売会社一覧 2025年4月7日現在

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

| 商号 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| (金融商品取引業者) | | | | | |
| 株式会社SBI証券 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| (登録金融機関) | | | | | |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 関東財務局長(登金)第649号 | ○ | ○ | ○ | |

<当資料で使用している指数の著作権について>

米国マイクロキャップ株式ファンド(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。ラッセルマイクロキャップインデックス(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE Russell®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。本指数は、FTSE International Limited, FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a)本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b)当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>